

平成23年度第4回林野庁入札等監視委員会 審議概要

| | | | | | |
|--------------------|----------------------|--|---|-----------------------------------|------------------------------------|
| 開催日及び場所 | | 平成24年3月2日(金曜日)林野庁中央会議室 | | | |
| 委員 | | 前原一彦(公認会計士) 鍛冶良明(弁護士) 近田直裕(公認会計士、税理士) | | | |
| 審議対象期間 | | 平成23年10月1日～平成23年12月31日 | | | |
| 審議対象案件 | | 24件 | うち、1者応札案件5件 契約の相手方が公益社団法人等の案件2件 | | |
| 抽出案件 | | 5件 (抽出率21%) | うち、1者応札案件2件 (抽出率40%) 契約の相手方が公益社団法人等の案件0件 (抽出率0%) | | |
| 抽出案件内訳 | 工事 | 一般競争 | 1件 | うち、1者応札案0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件0件 | |
| | | 指名競争 | 公募型指名競争 | 1件 | うち、1者応札案1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件1件 |
| | | | 工事希望型競争 | 1件 | うち、1者応札案1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件1件 |
| | | | その他の指名競争 | 1件 | うち、1者応札案1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件1件 |
| | | | 随意契約 | 1件 | うち、1者応札案1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件1件 |
| | 業務 | 一般競争 | 1件 | うち、1者応札案1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件1件 | |
| | | 指名競争 | 公募型競争 | 1件 | うち、1者応札案1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件1件 |
| | | | 簡易公募型競争 | 1件 | うち、1者応札案1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件1件 |
| | | | その他の指名競争 | 1件 | うち、1者応札案1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件1件 |
| | | | 公募型プロポーザル | 1件 | うち、1者応札案1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件1件 |
| | | 随意契約 | 簡易公募型プロポーザル | 1件 | うち、1者応札案1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件1件 |
| | | | 標準型プロポーザル | 1件 | うち、1者応札案1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件1件 |
| | | | その他の随意契約 | 1件 | うち、1者応札案1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件1件 |
| | | 物品・役務等 | 一般競争 | 4件 | うち、1者応札案件2件 契約の相手方が公益社団法人等の案件0件 |
| | | | 指名競争 | 1件 | うち、1者応札案1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件1件 |
| | 随意契約(企画競争・公募) | | 1件 | うち、1者応札案1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件1件 | |
| | 随意契約(その他) | | 1件 | うち、1者応札案1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件1件 | |
| | (特記事項) | | 抽出の5件については、1者応札や契約金額が高かったの等を抽出した。 | | |
| | 委員からの意見・質問、それに対する回答等 | | 意見・質問 | 回答等 | |
| | | | (詳細に記述すること。) (別紙のとおり) | (詳細に記述すること。) (別紙のとおり) | |
| 委員会による意見の具申又は勧告の内容 | | 該当なし | | | |
| 【これらに対し部局長が講じた措置】 | | □ □ | | | |

事務局：林野庁林政部林政課会計経理第1班

(注)公益社団法人等とは、公益社団法人又は公益財団法人(一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第42条第1項に規定する特例社団法人又は特例財団法人を含む。)をいう。

| | 意見・質問 | 回 答 |
|--------------------------|--|--|
| 委員からの意見 ・質問、それに対する回答等 | 工事関係 〔抽出番号1：森林総合研究所九州支所 所宿舎屋上防水工事〕 ・請負工事の場合は、仲裁合意書を作成することになっているのか。 ・訴訟に比べるとメリット・デメリットはあるのか。 | ・建設工事は必ず作成している。 ・メリット等は承知していなが、規則により作成が義務づけられている。 |
| | 物品・役務等関係 〔抽出番号1：平成23年度森林生態系多 様性基礎調査調査地点情報整備事業〕 ・他の入札価格と落札価格に大きな差があるが理由は何かあるのか。 ・住民票等の取得に対する資格等に問題はないのか。 ・登記簿等の取得に経費はかからないのか。 ・都道府県のデータがあるようであるが。 ・調査は、4 km間隔の格子線を想定し、とあるが全国が対象なのか。 ・当該事業は、土地調査を実施する会社でなくとも実施できるのか。 ・事業期間がまだあるが、成果物の提出はまだなのか、また、低価格での契約であるが、成果物は問題はないのか。 | ・人件費の積算が安価であったため。 ・公用請求で実施するこになり、問題はない。 ・公用の場合、経費はかからない。 ・ベースとしてのデータはあるが、総点検を実施するのもである。 ・全国の森林を対象とし、民国併せて約15千点程度ある。 ・土地所有者が登記簿上の者と一致しない場合があることから、これら調査のノウハウを有していれば可能と思う。 ・成果物の報告はまだだが、特段の問題はないものと思う。 |
| | 〔抽出番号2：平成23年度森林域における放射 性物質流出抑制対策調査〕 ・間接経費及び再委託費のレーザーデータ二次処理の内容は何か。 ・落札者の役員にOBが1名となっているが、最終役職は何か。 ・2者入札となっているが、他にも実施できる業者はあるのか。 ・技術者経費単価が各人別に異なる理由は何か。 | ・間接経費は、直接賦課できない一般管理費であって、職員等の人件費、事務費、光熱水料、減価償却費等であり、再委託費は、飛行機による調査データをパソコン処理する単純な業務である。 ・森林管理局長である。 ・他にも数社はあるが、この事業は放射性物質の高い区域での作業であり、諸般の事情により応札しなかったものと推測する。 ・各人ごとに、年間の人件費により時間単価を算出しているため。 |
| | 〔抽出番号3：平成23年度森林における放射 性物質拡散防止等技術検証・開発事業のうち 森林施業等に係る技術検証・開発〕 ・実施体制図には、3者が記載されているが、どうなっているのか。 | ・当該入札は、代表者を含め3者で共同提案されたものである。 |

| | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 1者応札となった、要因は何かあるのか。 ・ 直接経費に謝金が計上されているが、内容は何か。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 補正で予算措置されたもので、事業期間が短期であったこと、人員確保の困難等が推測される。なお、入札説明会には、数社の参加があった。 ・ 仕様に検討委員会を実施することとしており、当該委員会の委員に支払われる謝金である。 |
| <p>〔抽出番号4：平成23年度林野庁式典会場設営及び整備清掃作業 一式〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 当該事業は、毎年度実施しているのか。 ・ 毎年度、入札しているのか、また、同じ業者が実施しているのか。 ・ 式典会場は、毎回同じ場所なのか。 ・ 会場費は、必要になるのか。 ・ 経費に食糧費はあるのか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 昭和37年度から高尾山で、毎年度実施している。 ・ 入札は毎年度実施しており、入札結果により業者は異なる。 ・ 慰霊碑があり、その場所で実施している。 ・ 国有地で実施しており、会場費はかからない。 ・ 食糧費はない。 |
| <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 委員会としての意見はないが、委員からの意見等については適宜考慮して、今後の発注業務を進めて頂きたい。 | |